



園 だ よ り 5 月 号

Y M C A 保育園ねがい
2023 年 5 月 発行

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

マタイによる福音書 5 章 9 節

5月の連休が過ぎ、長い期間のコロナウイルス対応が解除になりました。たくさんの情報に右往左往した3年間。行動を規制されて、いろいろな経験ができなかった子どもたちも、ご家庭のみなさまもどんなに大変だったかと思うと胸が痛くなります。罹患された方も、知り合いを亡くされた方も多いことと思います。苦勞を乗り越えたみなさまには「本当によく頑張りました。」と拍手を送ります。(私たち職員も頑張りました。)

そして今も、紛争や圧政、飢餓や疾病などの社会情勢の中でたくさんの人々が苦しんでいます。高度な文明でも解決できない不安な日々で平和が与えられることを、心から願います。私たちは与えられた命を争いのために使ってはならないと思います。自分も含めて誰の命も奪ってはいけません。

園では「園だより」を通して園の様子を家庭のみなさまにお伝えしたいと願っています。定期購読している月刊誌「キリスト教保育」誌の記事を参考にして、日々の生活を振り返っています。今月は季節外れのクリスマスの事を書くことにしました。聖書には「救い主」キリストとして生まれたと書かれています。

「ひとりのみどりごが私たちのために生まれた。…その名は『驚くべき指導者、ちからある神、永遠の父、平和の君』と唱えられる。」 イザヤ書 9 章 5 節

人々が長い間待ち望んでいた、国王でも、お金持ちでも、政治力で隣国を制圧する権力者でもなく、最も力のない弱い姿の飼い葉おけに寝かされた乳飲み子が、「平和の君」とされたのです。

苦しみがなくなる日は無いかもしれませんが。それでも、神様から与えられた「神の子」としての命を輝かせる日が来ることを信じ、何が起きても希望を失わない心の平安が得られるようにと心から願います。

「わたしは、決してあなたから離れず、決してあなたを置き去りにはしない」 ヘブライ人への手紙 13 章 5 節

(園長 今井 世都)